

## 令和7年度奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題 出題概要【国語】

### 1 出題の特徴

哲学者の千葉雅也が、芸術を題材に様々な例を挙げながら、人間の多様性について述べた説明的文章を素材とした。古典については、親しみやすく、かつ自ら考えることができるような古典を素材とする観点から、平易な文体で書かれた、江戸時代の笑話集『醒睡笑』を素材とした。

これらの素材を基に、国語の基礎的な事項が身に付いているかをみるとともに、内容の正確な理解ができるかをみた。

さらに、言葉による見方・考え方を働かせ、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うことをうたった学習指導要領「国語」の趣旨を踏まえ、スピーチを題材に、事実と意見との関係に注意しながら、自分の考えが伝わる文章になるように構成や表現を工夫することができるかをみた。

### 2 各問題の概要

問題一 芸術を題材に書かれた、人間の多様性についての説明的文章を素材として、漢字の読み書きの力や、文の構成、内容の理解、楷書による書写などの基礎的・基本的な事項が身に付いているかをみた。

問題二 江戸時代の笑話集を素材として、古典を読むための基礎的な力が身に付いているか、また、古典に親しむ態度が定着しているかをみた。（三）では、古文に表れたものの見方や考え方をとらえることができるかをみた。

問題三 スピーチを題材に、事実と意見との関係に注意して構成を考えたり、相手の反応を踏まえながら表現を工夫したりすることができるかをみた。（四）では、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫することができるかをみた。

【出典】 千葉雅也『センスの哲学』

2024年4月10日発行、株式会社文藝春秋